

News Release

NTT西日本



西日本電信電話株式会社

(報道発表資料)

2025年1月14日

香川県三豊市

西日本電信電話株式会社 香川支店

株式会社マクニカ

三豊市における自動運転 EV バスの実証運行について

香川県三豊市（市長：山下 昭史）と西日本電信電話株式会社 香川支店（支店長：徳永 久雄、以下「NTT西日本」）は、「自動運転社会実装推進事業コンソーシアム協定」（以下「本コンソーシアム協定」）を締結し、国土交通省の令和6年度「地域公共交通確保維持改善事業（自動運転社会実装推進事業）」に応募し、採択されました。

そしてこの度、本コンソーシアム協定に基づき、日本全国の様々な環境やユースケースにおいて、数多くの実証実験の実績がある株式会社マクニカ（代表取締役社長：原一将、以下、「マクニカ」）とともに、自動運転 EV バスの実証運行を実施いたします。

1. 実証の目的

三豊市では急速な人口構造の変化により、高齢者等の移動困難者における移動手段の確保は喫緊の課題であり、併せて生産年齢人口の減少に伴うドライバーの人材不足も危機的状況を迎えています。そこで、自動運転技術を取り入れた公共交通の確立により、市民生活の持続確保とドライバーを含む働き手不足を補うことを目的に、三豊市、NTT西日本、マクニカなどの連携による地域課題の解決をめざします。

2. 実証運行の概要

- 実施主体 : 自動運転社会実装推進事業コンソーシアム（三豊市×NTT西日本）
- 実証内容 : レベル4の実現をめざし、本事業ではレベル2での実証運行を実施
- 運行エリア : 三豊市詫間町内（別紙参照）
- 実証期間 : 2025年1月27日(月)から2025年2月7日(金)まで
1月27日(月)については開始式及び関係者試乗のみとなります
- 実証車両 : 自動運転 EV バス車両 マクニカ Navya EVO
乗車定員 10名、低速運行（20km未満）※自動運転時

3. 各者の役割

- (1) 三豊市 : レベル4 自動運転の社会実装に向けた全体統括
- (2) NTT 西日本 : 調査事業統括、プロジェクトマネジメント、ネットワーク提供
- (3) マクニカ : 自動運転システム導入エンジニアリング及びサポート (自動運転 EV バス、遠隔運行管理システム提供)、オペレーターメンバーの体制構築

4. 今後の展開

本実証の結果を踏まえ、2028 年度に自動運転サービス (レベル4) の社会実装実現に向け、今後も実証調査を積み重ねることで、自動運転サービスの提供に必要な課題の解決に取り組めます。

こうした取り組みを通じて、ヒトやモノといった地域の資源を最大限活用し、必要に応じて自動運転といった先端技術の導入に挑戦しつつ、まちづくりと連携した新たなモビリティサービスの導入により、三豊市が地域公共交通の将来像として掲げる「行きたいときに 行きたいところへ 行けるまち」の実現をめざします。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。変更になる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。

自動運転実証運行ルート

